

葛飾FCニュース

VOL.15 2003 12月号

URL:<http://by3.co.jp/kfc/>

【6年生秋季大会結果報告】

結果：1勝4敗で予選敗退

内容：結果は別にして内容は春と比較して着実に良くなっています。全然歯が立たないという試合は一つもなくあと一歩という惜敗が殆どでした。（実はこの差が一番大きいのですが。）問題点は下記ですが一つ一つクリアして次の大会に臨みたいと思います。

- ・得点力不足
- ・ボールコントロール
- ・ポジション間の連携（大崎コーチ）

【1～4年生冬季ミニサッカー大会結果報告】

<1年生・葛飾FCアポロ>

結果：2勝2敗 勝ち点6で同率2位でしたが、得失点差で3位となりました。

- 第1試合：対 北習D（1年） 2 - 0
- 第2試合：対 夏見A（2年） 4 - 3
- 第3試合：対 アポロ - 習台力（2年） 0 - 1 3
- 第4試合：対 高根東ル（2年） 1 - 2

おしくも準決勝リーグに進むことができませんでした

2年生のチームとの対戦でも、遜色なく戦っていました。応援に来て下さった親子さんたちもゲームを見ながら目頭を熱くしていたようですから、とてもよい試合をしたと思います。大敗した試合以外は、緊迫した試合で、子供たちは全員で喜び、全員で悔しがっていました。

子供も大人もよい経験をしたと感じています。今後の練習には、どんな状況が、ピンチで、どんな状況がチャンスなのか、また、どうすればチャンスが広がるのか少しずつ理解できるようなことが盛り込めればよいのではと思いました。

試合中は、どんどん前行け！下がるな！と言っていました。（本堂コーチ(父)）

本当に感動の連続でした。試合開始前、相手チームは1つを除いて全て2年生だけのチームだったので、正直ここまでやってくれるとは思っていませんでした。大敗した試合にしても、点を取られても取られても全然ひるむことなく、みんなで試合に取り組んでいる姿は感動でした。準決勝リーグに進めなかったのはとても残念でしたが、子供たちの底力のようなものを感じました。

試合に勝てた事（それも自分たちよりも体も大きい2年生に！）も、大敗した事も、とてもよい経験になったと思います。子供たちも自信がついたみたいです。（本堂コーチ(母)）

<1年生・葛飾FCガイア>

結果：0勝4敗

- 第1試合：対 塚田ベアーズ 0 - 7
- 第2試合：対 行田東ブルー 0 - 7
- 第3試合：対 船小ピアノコ 0 - 9
- 第4試合：対 ヴィヴァイオD 0 - 1 5

相手チームは、いずれもほとんど2年生のチームで、大敗を喫しましたが、子供達は大変頑張りました。団子状態でみんなで攻めた場合、相手にボールをとられると守りが誰もいなくなり、すぐに点をとられることに自分達で気づいたようで、その後は守りにも気を遣うようになりました。ただ、やはり攻め時と守り時がわからないようで、それでの失点が多かったと思います。また、2年生との差は大きく（特に体格）、どうしても中盤でボールをとられていました。ゴールスローについては、投げても遠くへとばない子は、どうしても相手にとられると点に結びつく確率が高かったようです。

みんなとても悔しかったようで、練習を頑張って今度は必ず勝利すると言っていました。この思いを実現できるように、コーチは指導していかなければならないと感じています。今日は勝つことが出来ませんでした。こんなに大差がついても、攻めることを、点をとることをあきらめなかった子供達は、とても良い経験になったと思います。

（梶田コーチ）

葛飾FCガイアについて試合内容ですが、以下のケースによる失点で大敗となりました。

1. カウンターから得点されるケース（中盤でダンゴになっているが故に守りが一人もいない状態）
2. ゴールクリアランスが相手へのパスとなり得点されるケース（投げても遠くに飛ばない、あるいは、思ったところに投げられない）

1. に関しては、梶田コーチのコメントにもあるように、意識的に守りぎみにポジションをとる子もでてきたこともあり、2試合目以降はこのケースによる失点は減りました。2. に関してはどうしようもなく、終始このケースで得点される場面が多かったように思います。

大会終了後の反省会において、子供達は勝てなかった理由を「みんながボールにかたまりすぎたから」、「声が出ていなかったから」、「守る人がいなかったから」などと発言していました。子供達なりに感じる場所があったようです。また、「うまくなりたい!」、「強くなりたい!」、「勝ちたい!」と全員が言っていました。正に、彼らのこの気持ちが、今後このチームを強くしていく重要な要素なのだと思います。彼らのこの「想い」を実現する為に、我々指導者はスパルタに徹することなく「楽しいサッカー」の指導について考え、悩まなければならないのだと認識させられました。

最後に、何度得点されてもめげない気持ち、擦り傷を作っても何度倒されても（体格差はどうしようもない・・・）ボールを追いかける精神に感動しました。応援に来て下さったご父兄の方々も、そんな彼らに暖かい声援を送ってくださいました。

（岡本コーチ）

冬季ミニサッカー大会（1年ゼウス）の Movie を下記 URL に公開しましたので、お時間のある時にでもご覧下さい。

http://homepage.mac.com/hnakaji/katsushika_fc/iMovieTheater8.html

パスワード:110syuu

（中島コーチ）

< 2年生・葛飾 FC アルタイトル >

結果：2勝2敗

内容としては、日頃の練習の成果が非常によく現れ、特にドリブルパスに関し前回大会に比べ安定感を感じました。技術的にはまだまだ課題を残すものの、試合だから特別なことをするのではなく、練習の延長としてしっかりもてる力を発揮できた事が最大の収穫でした。結果だけを見ると2勝となっておりますが、1年生チームが2チームあっただけの為、同学年チームとの対戦では課題を多く感じましたが、反面まだまだ葛飾の子供達が成長できる伸びしろが多くあるのだと思いました。また、色々なチームと試合をしてみて、コーチ教え方次第で子供達のサッカーがこうも違うのかと改めて認識させられ、私自身教えられた事も多かったと感じます。

（飯吉コーチ）

< 2年生・葛飾 FC デネブ >

結果：0勝4敗

行田東イエロー、JYS、ジュニウス、塚田FC と4戦しましたが4敗に終わりました。

結果としては残念ですが、キーパー、ストッパーなど専門職を置いて組織で向ってくる相手に対してJYS戦などは一時同点に追いつくなどよくやっていたと思います。

今回の試合のテーマは

- 1) 全員で攻め全員で守り抜かれても追いかけて取り返す。
- 2) 練習で身につけたドリブルを多様してみる。

3) ゴールが見えたら遠くからでもシュートしてみる。でした。シュートへ繋がるチャンスは多くはなかったですがその過程で1)や2)のテーマの実践はできていました。

試合から見えた次へ繋げる反省点としては

1) 団子状態を解す：進歩はしていますが他チームと比べてしまうとどうしても目立ちます。四六時中、大声出して指示しちゃいました...が？

ボールの方向ばかりに気をとられて背後のプレーヤーをフリーにしている場面も多かったのですがこれは今も練習でやっている周りを見ることの延長線として身に付かせればいいですかね。

2) 攻守の切り替え：攻めなのにならでも相手をマークしていたり守りになったのに上がったまま帰ってこない。これも大声出しちゃってましたが...？

3) ボールの動かし方、ターン方向：ディフェンス時、相手を追いかけてボールを取るのですが外側から内側へボールを処理するため、別のプレーヤーにかっさらわれて致命傷になっていました。試合の合間にも教えたのですが基本技術として今から教えてもいいのではと思いました。

4敗という結果に対しては私も含め子供たちもくやしい思いがあると思いますが練習成果は確実に試合に出ています。子供たちがひとつひとつの基本テーマをしっかりこなして身に着けていく過程で勝利も手にできていると思っています。

（福部コーチ）

< 2年生・葛飾 FC ベガ >

結果：2勝2敗

他チームはポジションの明確に分けられ、ゴールキーパーも特定されていきました。共通して相手に攻められた原因は、当チームの子供たちは練習のドリブルの成果は現れていました。ただ、自陣で受けたボールを相手ゴールまで持っていくには、かなり難しいところが多かったかなと思います。相手は必ず、バックに一人は残っているので、シュートチャンスに至る場面はすくなかった様に思います。葛

飾の場合は、やはり皆でゴール前に進んでしまうので、カウンター状態になるとフリーにしてしまうことが多く、キーパーが防ぎきれなかったことが敗因かなと思います。しかしポジション決めは、今後のドリブルやシュートの練習で技術向上してからで、あせる必要はないかと思います。とにかく子供達は全員一生懸命でした。コーチとして反省と恥ずかしい面は、メンバー全員を平等に出してあげなければならないと思いながらも、勝ちも意識してしまった様なメンバー交代をしてしまったことであり、大変反省しています。交代した理由もきちんと指導してあげなかったのではないかと反省しています。（気にしている子がいないればいいと願っています）今後はこのようなことをしてはならないと思っているので、今後の練習で子供たちが楽しく、自信をもてる様な指導にしていきたいと思います。自分も他のコーチから学ぶ様にしていきます。応援に来られたご父兄の方々につきましては、多数の声援が子供達には印象に残ったと思います。お疲れさまでした。

（横内コーチ）

< 3年生・葛飾 FC レアル >

結果：0勝2敗1分 グループ4位

第1試合：対 三山 5 - 0

第2試合：対 ゴールジェニウス 1 - 7

第3試合：対 船橋 JYS 0 - 2

船橋 JYS は対三山 7 - 0

船橋 JYS は対ゴールジェニウス 6 - 0

船橋 JYS は対葛飾 2 - 0

で葛飾から思うように点数が取れなくてかなり悔しがっていました。

1試合目の三山戦では前半3 - 0でリードで後半2 - 0で圧勝でした。2試合目のゴールジェニウス戦では前半0 - 3、後半1 - 4で完敗でした。最初の試合でアッサリ勝って気が抜けたのかボールを眺めてしまう悪い癖が出て追いかけられず力的にはあまり変わらないチームに負けてしまいました。3試合目の船橋 JYS 戦では前半0 - 1で

後半0-1で負けてしまいましたが非常に良い試合でした
ボールを取られても、取り返しに付いて行き、取り返す
ドリブルで運びパスをつなげる、ゴールコースをカットす
るかなり、接戦でした。

他校の審判からも葛飾さんはだんだん良くなりますね
と、誉められる位（お世辞も入ってますが）でした。
（根城コーチ）

< 3年生・葛飾 FC レアル >

結果：0勝2敗1分 グループ4位

第1試合：対 北習 FC/A 1 - 1
第2試合：対 薬南 FC 1 - 5
第3試合：対 船橋法典 FC レッド 0 - 1 1

【グループ順位】

1位 船橋法典 FC レッド
2位 薬南 FC
3位 北習 FC/A
4位 葛飾 FC レアル

1試合目の北習戦では終了1分前まで1-0でリード
していたのですが、文字通り最後の最後に追いつかれまし
た。最後の数分間ベンチも子供達も「守りの態勢」に入っ
たのが悔やまれます。今回は最後の最後まで攻めの姿勢
を崩さないようにしたいです。

残りの、薬南、法典レッド戦では大敗を喫しましたが、
子供達一人一人の動きをみていますと、ここ1か月の練習
の成果が現れていたと思っています。特に、これまで、ド
リブルをしても相手をかかわすことができなかつた子供が、
今日の試合では、3人抜きを披露し、「何かに目覚めたん
とちゃうか!？」と思わせる程の素晴らしいプレーをみせて
くれました。本人も喜んでいましたが、こちらもすごく嬉
しかったです。

いつものように、上位チームと比較した時の「差」は色々
感じますが。今は葛飾 FC 3年の課題（テーマ）である個人
技（ボールコントロール精度、ドリブル突破力）に磨きを
かけられるような練習を継続したいと思っています。

（中島コーチ）

- - - - -

< 4年生・葛飾 FC パシフィック >

結果：2勝2敗

第1試合：対 イレブンブルー 0 - 8
第2試合：対 七林 6 - 0
第3試合：対 峰台 B 1 0 - 0
第4試合：対 八木ヶ谷 2 - 4

< 4年生・葛飾 FC アトランティック >

結果：1勝3敗

第1試合：対 行田西 0 - 2
第2試合：対 小室 B 0 - 2
第3試合：対 法典東 2 - 0
第4試合：対 咲が丘 0 - 1

残念ながら2チームとも準決勝リーグには進めませんでした。

今回の試合では、一人がドリブルで攻め上がりもう一人
がゴール前でパスをもらいシュートを決めるというパター
ンでの得点が増え、練習結果が現れた大変いい試合でした。
船橋イレブンとのレベルの差はありますが、その他のチ
ームとは、試合結果から見てもほとんど差はありません。し
かし、他のチームから一歩抜け出すには個人技のレベルは
もちろんですが、ボールを持っていない選手の動きを練習
してチーム全体としての組織プレーができないと勝ち進め
ないでしょう。

来年からの11人制の試合を考慮し今後の練習メニュー
を考えていきたいと思っています。

（伊瀬コーチ）

葛飾 FC アトランティックの試合結果について、負けは
しましたが、行田、小室、咲が丘と互角に戦う事が出来ま
した。この3チームと比べて劣っていた点は、やはり勝つ
ための練習をしていなかった事です。セットプレーの約束
事、固定されたメンバーでの練習による経験の差等、完成
されたチーム力の差が結果に現れた様に感じます。ただこ

の事は現時点では、悲観することは無いと思っています。
相手チームとの個人の差はさほど無く、特に最後の咲が丘
戦では、前後半でメンバーを交代させたにも係わらず、互
角の試合をする事が出来ました。出場した子供達全てに成
長の跡が感じられました。

4年生のチーム編成方針として、ここ3大会（夏季、北
習、今回）のミニサッカー大会では、現在の部員17名を
それぞれ均等に2チームに分け、出来るだけ同じ顔ぶれに
ならないよう編成してきました。結果として、準決勝リ
ーグに進出出来たのは夏季1チーム、北習1チームに終わ
りました。また良い試合をしても結果として勝たなければ、
次の試合の機会も失われてしまうという「悔しさ」は子供
達、帯同したコーチも経験しました。この事は来年度新5
年生になり、8人制、11人制にて戦う時に、必ず花開く
と信じています。クラブとしての方針は理解しているつも
りですが、やはり子供達が負けて悔しい思いをし、負けたく
ないと思えば、コーチとしてそれに答えなければなら
ないと思っています。

（衛藤コーチ）

- - - - -

レフリーカップ組み合わせ

12/23 1回戦

9:30~ 船橋 FC : 習台 FC
10:10~ 丸山 FC : 北習 FC
10:50~ FC芝山 : 葛飾 FC
11:30~ 海スポ : 八木ヶ谷北 FC

卒業生大会組み合わせ

1/11(日) 会場：芝山東小
9:30~ 芝山東 FC : 葛飾 FC
10:30~ 小栗原 FC : 高郷 FC
11:30~ 芝山東 FC : 小栗原 FC
12:30~ 葛飾 FC : 高郷 FC

1/12(祝・月) 会場：芝山東小

13:30~ 芝山東 FC : 高郷 FC
14:30~ 葛飾 FC : 小栗原 FC

以上